

令和6年第6回清瀬市教育委員会定例会会議録

令和6年第6回清瀬市教育委員会定例会が令和6年6月26日(水)午前9時30分に招集された。

出席委員、議事の概要は次のとおり。

- 1 日 時 令和6年6月26日(水) 午前9時30分
- 2 場 所 市民協働ルーム
- 3 付議案件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 坂 田 篤 (教育長)
宮 川 保 之 (教育長職務代理者)
尾 崎 啓 子 (委員)
鈴 木 美 紀 (委員)
中 村 清 人 (委員)
- 5 事務局 南 澤 志 公 (教育部長)
大 島 伸 二 (教育部参事兼教育指導課長)
大 野 英 武 (教育企画課長)
宮 本 央 子 (教育企画課学務担当課長)
宮 野 将 史 (教育指導課教育支援担当課長)
山 口 由 希 (図書館長)
- 6 書 記 鈴 木 和 也 (教育企画課主事)

令和6年第6回清瀬市教育委員会定例会

令和6年6月26日(水)
市民協働ルーム

定例会

日程第1	会議録署名委員の指名(宮川委員)		
日程第2	教育長報告		
日程第3	教育委員報告		
日程第4	報告事項1	令和5年度清瀬市教育委員会重点事業の最終報告について	教育企画課長
日程第5	報告事項2	令和5年度水泳指導アンケートの結果について	教育企画課学務担当課長
日程第6	報告事項3	学校給食オリジナルパン「ニンニンパン」について	教育企画課学務担当課長
日程第7	報告事項4	小中連携教育推進委員会報告について	教育指導課教育支援担当課長
その他			

開会

坂田教育長が開会を宣言

日程第 1 会議録署名委員の指名(宮川委員)

宮川委員を指名

日程第 2 教育長報告

坂田教育長 中学校の運動会を見学した。子供たちが種目を考えている学校がある。行事に子供たちの意見を取り入れるという取り組みを高く評価する。

6月に清瀬市議会があった。図書館の改革について多くの議論が交わされ、特に子供の読書スペースについて言及があった。教育委員会としては新しい読書文化の創造に挑戦する気持ちで取り組んでいる。六小でのライブラリー&カフェなどの取り組みを推進していく必要があると思う。

日程第 3 教育委員報告

鈴木委員 6月25日、清瀬第三小学校の教育委員会訪問に参加した。主幹の先生の1年生に対する丁寧な授業が素晴らしく、他の先生にも良い影響が広がっていくだろうと心強く感じた。新任の先生も声を張って、子供たちと生き生きとした授業をしていた。図書文化として、物語だけでなく科学に関わる本の充実や、先生からのお薦め本の紹介など、他の学校にも共有して欲しい取り組みが見られた。

中村委員 同じく、清瀬第三小学校の教育委員会訪問に参加した。子供が自ら手を挙げ、自分の考えを発表したり、人の意見を聞いたり、分からないところを教え合ったりするなど、積極性を感じた。生きていくために大切なものが育っている。先生方も子どもの発表には拍手で答えるなど発表しやすい雰囲気を作っており、授業準備も良くされていると感じた。掲示物に英語を使用したり、中庭で野菜を育てるなどの教育環境も工夫されていると感じた。私が働いている清瀬幼稚園の卒園児に会うことができ、子供の成長を感じた。図書館には様々な本が揃っており、ゆったりと過ごせる素敵な環境だと感じた。

尾崎委員 特に報告はない。図書館改革に関して、世代間交流ができれば地域活性につながるため、就学前の子供から高齢者まで様々な方の交流の場にもなると良いと思う。

宮川職務代理者 同じく、清瀬第三小学校の教育委員会訪問に参加した。1年生の国語の授業は先生の板書が見事で、子供たちが字の形を細かく見て書くということを通じて思考力を向上させる授業だと感じた。清瀬市全体の課題として、指導のねらいを子供の行動から読み取らなくてはいけないが、それが出来ていないところがある。三小の授業ではそれが良くできているものもあった。

中学校の運動会へ訪問した。準備運動のラジオ体操第一を工夫して、自分の準備運動が十分な内容になっているかを自己判断させるなどして、個別最適な学習にも繋がっていくと思う。

道徳授業地区公開講座に参加した。始まって四半世紀経つ事業となるが、形となるような事業になっていると感じた。

日程第 4	報告事項1 令和5年度清瀬市教育委員会重点事業の最終報告について
教育企画課長	令和5年度清瀬市教育委員会重点事業について、4課5事業の最終報告を作成した。今回の定例会で内容を報告した後、7月に外部委員による点検評価のヒアリングを受け、8月中旬に点検評価の報告書が完成する予定。
尾崎委員	<p>デジタル連絡ツールの活用について、ニーズに合わない発信が多いと見なくなってしまうと思う。保護者からはどのようなニーズがあったか、あるいはこれからのニーズについて考える必要があるのではないかと。</p> <p>新校開設に向けた取組について、新校に関するイラスト作成や小学生を含めたディスカッションなど、子供の視点が入っていて非常に良いと感じた。</p> <p>小学校特別支援学級事業・中学校特別支援学級事業について、共同学習の意義をしっかりと伝えていくことが必要となっていて、私もそのように思う。中学生や保護者の一定数がアンケートで「分からない」と回答しているのは、家に帰っても生徒が話題に出さないということも原因だと思うので、保護者への直接の発信や子供が語りたくなるような交流方法を考えていく必要がある。</p> <p>下宿地域市民センターテラス新設工事について、指定管理者による自主事業はどのような内容であったか。</p> <p>図書館を使った調べる学習コンクールについて、図書館の貸し出しの利用頻度や調べ方の習熟をどのような方法や規格を用いて、指標の達成を目指しているのか。</p>
教育企画課長	デジタル連絡ツールの活用について、自治体が通知した保護者支援給付金や市内の交通事故、市のイベントの情報提供など、子供や家庭に直接結びつく内容が役に立ったという意見をいただいている。
坂田教育長	下宿地域市民センターテラス新設工事について、本日は担当の生涯学習スポーツ課長が欠席のため後日回答する。
図書館長	過去に子供会の一環として辞書の使い方をクイズ形式で教えるなどの活動を行っており、今後も同じような形で子供会や子供たちが集まりやすいところで調べ方の習熟を進めていければと考えている。
坂田教育長	調べる学習コンクールの「専門家を呼んで指導を行う」は、対象は教員か。
図書館長	教員を対象とする予定である。
中村委員	下宿地域市民センターテラス新設工事について、地域の生涯学習の拠点となる場所であり、身近に子育て支援施設があることはとても重要。開催された事業の参加者の状況等を伺えると嬉しい。施設が日頃から開放されているかも気になった。子供の居場所としてさらに充実を図っていただきたい。
鈴木委員	小学校特別支援学級事業・中学校特別支援学級事業について、特別支援

の子供たちも授業のねらいや目当てを認識して臨むことが非常に大事である。そのためにも教材研究や先生同士の学び合いが重要になると考えるが、どのように行われているのか。

図書館を使った調べる学習コンクールについて、各学校でどのような取り組みを行っているかを共有する場があると良いが、その予定はあるか。

教育支援担当
課長

小学校特別支援学級事業・中学校特別支援学級事業について、特別支援学級の教員の学び合いとして、特別支援学級の教員を対象とした研修を年2回、特別支援教室の教員を対象とした研修も年2回行っている。また、特別支援学級には定期的に指導主事が訪問して指導・助言を行っている。昨年度は特別支援学級及び特別支援教室の教員を対象に、特別支援学校の見学という形で研修会を実施した。3校ごとでグループを作り、それぞれの指導方法等の情報共有のため、ファイルサーバで教材の情報共有なども行っている。

図書館長

図書館を使った調べる学習コンクールについて、校長会や副校長会で調べる学習コンクールの案内を行っている。双方の話し合いは出来ていない。

坂田教育長

図書館担当の教員のアイデアの共有は出来ないか。

図書館長

図書館の人員の状況をふまえながらやり方の工夫を含めて検討したい。

坂田教育長

小学校特別支援学級事業・中学校特別支援学級事業について、子供たちに授業のねらいや目当てを認識させて臨ませることは早急に進めていくべきで、教員への研修に時間をかけていては間に合わないと思う。

教育支援担当
課長

学校への訪問で実際にできているか確認して、必要に応じて指導を行う。

宮川職務代理
者

令和5年度清瀬市教育委員会重点事業の報告書について、市民の方へ伝えていくことが大きなポイント。昨年、清瀬市議会で報告したことに対して議員から質問があったと伺っており、関心を持っていただいていると感じる。評価の結果と成果指標をどうするかという点を見直す必要があると感じていたが、それが反映されてきていると感じる。報告書の書き方は修正した方が良いと思う点もある。

図書館を使った調べる学習コンクールについて、子供たちが必要となる自ら学び、主体性をもつということにつながる事業であるので、学校とうまく連携して進めていってほしい。

坂田教育長

点検評価は事務局の事業のPDCAサイクルを回す意味もあるが、教育委員会の事業を広く市民へ伝えていく手段の一つである。市民の立場に立った表示の仕方を研究していく必要がある。

日程第 5	報告事項2 令和5年度水泳指導アンケートの結果について
-------	-----------------------------

学務担当課長

前年度、芝山小学校・清瀬第四小学校・清瀬第十小学校の小学校3校の児童と清瀬中学校・清瀬第四中学校の中学校2校の生徒を対象に、水泳指導の民間委託に関するアンケートを行った。

小学校・中学校共に満足度に関しては「満足している」または「やや思う」という回答が90%以上となっており、理由としてはプールの水がきれい、更

衣室が広い、分かりやすく教えてくれる、授業が楽しい、自分の泳力に合わせた指導を受けられた、などが挙げられた。また、「そう思わない」と回答した理由については、移動に時間がかかる、着替えの時間が短い、もともと水泳が好きではない、自由時間が少なくてつまらない、などが挙げられた。

泳力の向上については、小学校・中学校共に向上したと回答した子供たちが80%を超えている。全体的に、子供たちの満足度は環境面、指導面共に高いというアンケート結果となった。

坂田教育長 前回の定例会で報告したように、市議会議員全員に水泳授業の見学をしていただいた。市議会でも答弁が行われたが、実際に利用する子供たちの満足度が高いことが一番重要である。今後も積極的に取り組んでいきたい。

日程第 6	報告事項3 学校給食オリジナルパン「ニンニンパン」について
-------	-------------------------------

学務担当課長 清瀬のニンジンを利用したパンの名称を子供たちから募集して、「ニンニンパン」という名称で決定した。約2,500通の応募を受けた中から決定した。

ニンニンパンは清瀬市内の農業者が生産した、食べることに支障はないが不揃いなニンジンを福祉作業所でパウダーに加工して、それを活用して学校給食会と一緒に開発したもので、味は清瀬中学校と清明小学校の給食委員に試食してもらい、砂糖の量やパウダーの量を調整して完成した。

6月19日の「食育の日」に清瀬第三小学校でニンニンパンを給食で提供して授業を行った。読売新聞、くるめら、J:COMでも紹介された。6月に全小学校で提供する予定。

坂田教育長 事前に試食いただいた委員の方から感想をいただきたい。

中村委員 見た目から素晴らしく、おいしくいただいた。

鈴木委員 美味しいだけでなく、不揃いなニンジンを活用して福祉作業所で加工するなど、市内全域を使って作成しているという点が素晴らしい。

宮川職務代理者 おいしかった。一日も早く市販化されることを期待する。栄養成分などが分かれば教えて頂きたい。

坂田教育長 栄養成分については後日案内する。

職員に対する食を通した健康づくりがトレンドになっていて、そこにも活用できるのではないかと思う。

教育はあまりPRが得意ではない分野であると感じているが、このような取り組みを活かすことでPRに繋がっていくと思う。

日程第 7	報告事項4 小中連携教育推進委員会報告について
-------	-------------------------

教育支援担当課長 5月8日、第一回目の小中連携教育合同研修会を実施した。事前に各中学校区グループでグループ部会を開催して本計画の作成に向けた調整を行っていたことで、当日はどの中学校区グループも有意義な話し合いができたと思えている。

各中学校で身につけさせたい資質能力や育てたい児童・生徒像を共有したうえで、具体的な取組についても中学校区ごとの実態を踏まえた内容でまと

められていると思う。

清瀬中学校から清瀬第四中学校区までは主に複数の部会を設定して、小中学校の教員の交流を図りながら取り組みを企画・運営していく形となっている。清瀬第五中学校区はこれまでも小中連携の取り組みを進めていた経緯もあり、個々の行事を通して小中学校の教員が関わり合いながら企画・運営していくようになる。

7月に各中学校区グループの代表者が集まる小中連携教育推進委員会を開催する予定である。そこで各中学校区の計画内容について共有を図るとともに、11月に実施する第二回目の小中連携合同研修会の運営方法等の検討を行う予定である。

鈴木委員 計画が見えてきたことで一歩ずつ進んでいっていることを感じる。教員にとっても、目指す姿が見える化することによって小中連携が進むようになると思う。各地区の取り組み方があると思うが、個人的には中学生が小学生にお勧めの本を紹介するなど、授業に関わっていけると良いと思っている。

宮川職務代理者 この取り組みを通して教育課程が今後どのように変わるか。教科書を選ぶときに小中学校の関連が出るだろう。また、各教科の単元構成を見直すことにも繋がるだろう。

尾崎委員 地域の特色や学校の強みを生かすことを進めていっていただきたい。活動の成果を他の中学校区と共有して、横展開をしていただきたい。

中村委員 子供たち同士だけでなく先生同士のつながりがあることは良いことだと思う。この取り組みを通して、接続や学力だけでなく子供たちの様子を丁寧に引き継いでいけると良いと思う。

閉会

坂田教育長が閉会を宣言

閉会 午前10時55分

令和6年6月26日

上記のとおり会議の顛末、大要を記し相違ないことを証する。

清瀬市教育委員会

教 育 長

教 育 委 員